

令和6年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	魚のすみやすい川づくり勉強会	事業経緯	継続	実施体制	協賛	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

本事業は、行政機関や学術・民間の有識者の講演等により、北陸地域における河川整備を企画、立案、工事する際に、払うべき魚類等の生態系に対する適正な配慮について考える機会を提供することを目的とする。

2. 事業実施体制

主催：NPO法人水環境技術研究会
 協賛：(一社)北陸地域づくり協会
 後援：国土交通省信濃川河川事務所、新潟県、魚沼漁業協同組合

3. 事業概要

日時：令和6年10月30日(水) 13:30～17:00
 場所：魚沼市小出ボランティアセンター(オンライン併催)

プログラム：

- ①「信濃川中流域の河川整備について-川の変化の特徴を交えて-」
 福島 雅紀(国土交通省信濃川河川事務所長)
 - ②「北ノ又川における宮の淵再生」
 松前 竜治(奥只見の魚を育てる会副代表)
 - ③「大規模出水による川の変化と河川環境への影響」
 小野 直哉(新潟県魚沼地域振興局 地域整備部治水課長)
- 総合討論
 進行：陸 旻皎(水環境技術研究会理事長)

参加者：240名(会場53、オンライン187)

4. 事業実施により期待される効果(社会貢献度等)

本事業は、国土交通省北陸地方整備局の河川協力団体として水環境技術研究会が行っているもので、今回で14回目を数え、県内各地において実施されている河川環境の改善・保全の取り組みについて、最新の知見が示された。今回は、河川の整備とともに川の自然営力による河床の変化や河床材料である土砂の粒径や土砂移動の実態、洪水に対応する淵の保全の難しさ、大規模出水後の復旧事例とその後の河道の変化などの報告から、豊かな河川環境の創出にとってどのような行動が必要かなどについて議論した。勉強会全体を通して、河川環境の保全と創出、魚の生息環境の改善、地域との連携、そして関係機関での日頃の意見交換を継続していくことの重要性が強調された。



総合討論

総合討論(会場)